

Ⅱ. 第33回岡山県JA大会においてJAグループ岡山がめざすもの

1. 今後のJAグループ岡山がめざす姿

- JAは、組合員が出資・運営し、自らが必要とする事業の利用を目的とする組織であり、正組合員である農業者の営農と生活を支える総合事業を展開し、併せて准組合員である地域住民から必要とされる生活サービスを提供しています。
- JAは、こうした正・准組合員を対象とした総合事業により、効果的かつ効率的な事業運営、組合員に対する質の高いサービスの提供を実現し、農業振興、地域振興、農業・農村の多面的機能発揮などに重要な役割を發揮してきました。
- 地方の人口減少や超高齢社会、農業生産基盤の急速な脆弱化など厳しい環境下で、JAが引き続きこうした役割を發揮するためには、JAが総合事業を営み、そこに住むJA組合員や事業利用者等地域住民の力の全てを結集することが必要であり、今後とも農業者や地域住民が一体となった協同活動の取り組みが不可欠です。
- また、多様化する地域と農業の実態を踏まえ、組合員のニーズに応えるため、各々のJAが創意工夫ある取り組みにより、地域の実態に応じた特色あるJAづくりを進める必要があります。
- 上記のJAの役割やJAに対する社会的要請・課題等を踏まえて、第32回岡山県JA大会で決議した「JAグループ岡山の取り組みの柱」を第33回岡山県JA大会実践期間も継続してその実現をめざします。

<JAグループ岡山の取り組みの柱>

- | |
|--|
| <p>① 持続可能な岡山県農業の実現
農業生産の拡大、農家組合員の所得向上、地域の農地の保全、農を通じた豊かな地域づくりをめざします。</p> <p>② 豊かで暮らしやすい地域社会の実現
JAの総合事業・活動を通じて、次代をはじめ組合員・地域住民や関係機関とともに地域を協同で支え、豊かで暮らしやすい地域社会の実現をめざします。</p> <p>③ 協同組合としての役割発揮
地域に即した組合員・利用者目線の事業・活動を行い、組合員拡大、資本・財務強化、事業伸長をめざします。</p> |
|--|